

編集・発行／社会福祉法人 湯浅町社会福祉協議会

〒643-0005 和歌山県有田郡湯浅町栖原 126 湯浅町地域福祉センター内

TEL : 0737-63-5175 FAX : 0737-63-3304 WEB : <http://www.yuasa-shakyo.or.jp/>

Home Page



facebook



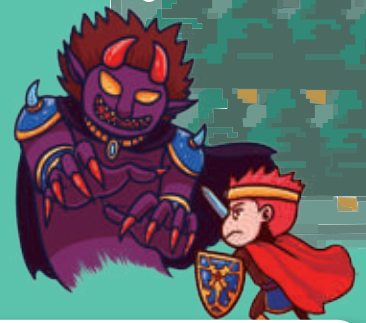
ひょうししゃしんだいぼしゅう
表紙写真大募集

ひょうししゃしん ちょうみん かた ていきょう
表紙写真は町民の方より提供していただきました。
ゆあさちょうしゃかいふくしきょうぎかい しゃきょう
湯浅町社会福祉協議会では、「社協だより」を住民
のみなさまに身近に感じていただけるよう投稿写真
の募集を行っています。子どもたちの笑顔やおとしよ
りとおふれあう写真などで表紙を飾ってみませんか？
みなさまからの心温まる写真をお待ちしております。

地域での
ふれあいを大切に…



さあ！君たちが 未来の主人公だ



社会福祉協議会では、湯浅小学校5年生のみなさんが毎年取り組まれている福祉学習「絆～湯浅の人たちと繋がる～」のテーマに沿って、地域福祉の理解を深めてもらう学習を福祉課と協働で行っています。

5月15日には「ふくし入門講座」、28日に「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域での支え合いや高齢者福祉について学んでいただきました。

子どもたちのキラキラした目で取り組んでくれる姿を見ていると、思いやりの大切さをたくさん感じてくれたことと思います。

今後も様々な学習を通じて、これからの湯浅町を支える主人公に成長してくれることを楽しみにしています。

「ふくし入門講座」5月15日(水)



各
地
区
の
集
会
や
団
体
の
み
な
さ
ん
が
集
う
場
に
お
呼
び
く
だ
さ
い。

「認知症サポーター養成講座」5月28日(火)



私
た
ち
と
一
緒
に
だ
ん
の
う
ら
し
の
あ
わ
せ
(
福
祉
の
町
づ
く
り
を
推
進
し
て
い
き
ま
せ
ん
か
?)





かいだんしたマーケット

ぶっぴんだいぼしゅう 物品大募集!



かいだんしたマーケットとは？

「我が家では使用する機会がなかったけれど、必要とされる方がいれば使用してほしい」そんな生活雑貨を有効活用し、地域の支え合いやつながり、持続可能な地域づくり (SDGs) を目的とし、地域福祉センター館内の階段下スペースを使用し、マーケットを常時開設します。

それに伴い、町民の皆様からご寄付いただける物品を募集させていただきます！



かいせつ にちじ 開設日時

開設については月曜日～金曜日 (午前9時～午後4時) を予定しておりますが、詳細については社協広報にて改めてお知らせさせていただきます。

※ 物品が集まり次第のスタートとさせていただきます。

ぼしゅう ぶっぴん 募集物品

生活雑貨 (新品・未使用のものに限る)

しゅっぴん ほうほう 出品方法

- ① 開設日時内に地域福祉センターへ販売品をお持ち込みください。
 - ② 販売金額は出品者に100円・500円のどちらか選択して決めていただけます。
- ※ 品物が長期間残っている場合は、地域福祉事業で活用させていただきます。

ほぞんきかん ねん
(保存期間1年)

※ 物品の状態によっては受付できない場合もございます。

しゅうえき 収益について

マーケットの収益は地域住民の支え合い事業・福祉団体への寄付等に活用させていただきます。



被災地ボランティア活動報告 ~IN能登町~

こんにちは。ボランティアセンター^{神田}です。

5月26日・27日の2日間、和歌山県被災地応援ボランティアバスに乗り、能登半島奥能登に位置する「能登町」で災害ボランティア活動に参加させていただきました。

現地では主に家財道具の運び出し、被災材の分別、処理などを行いました。災害ボランティアとして活動するにあたり、単に依頼を受け作業をするのではなく、被災された住民への細やかな配慮、寄り添った活動を心がけることが特に重要であると感じ、和歌山に戻りました。

地域の皆さまの支え合いで今以上にやさしい湯浅町を作りあげていきませんか？きっとそれは災害時にも役立つはず！



災害ボランティア
事前登録者募集中!

湯浅町社協では、災害時に救援活動をともに行っていただけ仲間を募集しています！

※湯浅町に在住、在勤、在学または拠点^をを有し、満15歳以上である者とし、18歳未満の場合は保護者の承諾を得た者とする。

【登録方法】

社協にて登録申込書にご記入いただくか、QRコードから登録フォームにご入力ください。



[WEB登録] ▶▶▶



こんにちは!

ヘルパーほほえみです!



今回は訪問介護(ヘルパー)の魅力について紹介します。

訪問介護(ヘルパー)は、利用者さんのご自宅へ訪問し、ひとりひとりに寄り添いながら、住み慣れた地域で安心して生活していただくために介護サービスを提供しています。

自宅への訪問を重ねるなかで、私たちが身近に感じてほしい、一緒に家事をしながら楽しくおしゃべりをすることもあります。そのようななかで、人生の先輩でもある利用者さんから生活の知恵や知らない調理方法、湯浅町の歴史や地域のことなど、ほんとうにたくさんのおしえてもらっています。

さらには、訪問の度に「待ってたで」「ありがとう」など利用者さんからあたたかい言葉をもらった時に、とてもやりがいを感じています!

私たちは自分自身も成長できる訪問介護の仕事に魅力を感じながら日々励んでいます。



ヘルパー大募集!

働き方の相談に応じます!
土・日出勤できる方大歓迎。



安心して働けるように私たちがサポートします



楽しくやりがいのある仕事ですよ

手当や福利厚生も充実



一緒に働きませんか?

美食！五感に響く“やすらぎ飯”

「きれいなあ」「ええにおいやわ～」「うまいよ～」「おかいさんもある？」そんな声が聞こえる、やすらぎの食事の時間は笑顔でいっぱいです。味はもちろん見た目や栄養バランス、食べやすさにこだわり、満足いただけるよう心を込めて作っています。



のどろみで
おいしいが



彩りよく
食欲増進！



食欲をそそぐ
フロアに広がる
いい香り！



サクサク食感の
あげ物です！



ひとりではなく周りのみんなと、会話を楽しみながら食事をする事で、食べる喜びや楽しみはさらにふくらみます。みなさんもぜひ、「やすらぎ」に来て美味しい食事をしませんか？
その他 お問い合わせは、デイサービスやすらぎ（出口・山下）までお願いします。

／ケアマネさんに聞いてみた！／

福祉避難所はどんな所？



福祉避難所とは

高齢者や障がい者の方など、災害時に特別な配慮が必要な人を受け入れる避難所です。福祉避難所は、通常の避難所と比べて、トイレなどがバリアフリーとなっており、簡易ベッドや紙おむつなどが備蓄され、介護や援助が必要の方のケアに当たることになっています。

湯浅町内では、主に高齢者や障がい者支援の福祉施設が避難所として指定されています。

台風や大雨の場合、高齢者等避難指示が発令されると、湯浅町地域福祉センターが福祉避難所として開設されます。

* 移動等に不安のある方は早めに避難所を利用するようにしましょう。

* 移動に車椅子等が必要とするなど、身体が不自由な方に対しては送迎も検討されます。

台風など事前に予測できる災害の場合は…

* 安全な場所に住んでいる身内宅に避難するなど対策について普段から相談しておきましょう。

* 介護サービスを利用している場合は、ケアマネジャーとショートステイの利用について相談しましょう。



避難時は何を持って行ったらいいの？

飲料水・食べ物・財布・健康保険証・薬とお薬手帳・タオル類・介護に必要なものなど



* 認知症の人は、人一倍ストレスに弱いいため避難所では混乱しやすく、心身の状態が悪化し、家族や周囲の負担が大きくなりがちです。環境を整えたり周囲の人の関わり方で心が安定し、負担を軽減することができます。

ケアマネジャーや地域包括支援センターと事前に相談しておきましょう。

福祉避難所についてのお問い合わせ・ご連絡先

湯浅町役場総務課・福祉課 ☎ 63-2525

湯浅町社会福祉協議会 ☎ 63-5175



しんぱい べんごし そうだんしよかいせつ \ 日曜日 / あんない 心配ごと(弁護士)相談所開設のご案内

かいせつにちじ
開設日時

れいわ ねん 8 がつ 4 にち
令和6年8月4日
ごぜん じ 30 ぶん ~ 11 じ 30 ぶん
午前9時30分~11時30分

かいせつばしょ
開設場所

ゆあさちようちいきふくし
湯浅町地域福祉センター

じぜん ややく がつ にち きん 7 5 日(金)からの受付となります。なるべく事前予約をご利用ください。

べんごし そうだん は 午後1時からとなります。また、10件までの受付となります。

べんごし そうだん を 希望される方は、午前中に開設する「心配ごと相談」にて、相談内容を整理する
必要がありますので予めご了承ください。

とうそうだんしよ きてい もと ひみつ げんしゆ
当相談所の規定に基づき秘密は厳守します。また、相談費用は無料です。

もう こ と あ ゆあさちようしゃかいふくしきょうぎかい ねが
お申し込み・お問い合わせは湯浅町社会福祉協議会(☎63-5175)までお願いします。

ふくし りよう えんじょじぎょう にちじようせいかつじりつし えんじぎょう 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)とは

〇認知症や知的・精神障がい等により、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方を対象に、「福祉サービスの利用援助」を基本サービスとして、「日常的な金銭管理」や「書類預かり」を行います。



サービス 内容は

- ① 福祉サービスに関する情報提供、利用手続き援助
- ② 生活費や家賃、光熱費等の日常的な金銭管理
- ③ 通帳や証書等の大切な書類管理
- ④ 年金や手当等の届け出及び確認援助

えんじょ 援助は

- ① サービス1時間につき1,000円の利用料が必要になります。ただし、所得基準により減免等があります。
- ② 書類等の預かりサービスは850円(月額)が必要となります。



ほんじぎょう かん そうだん ゆあさちようしゃかいふくしきょうぎかい たんとう たまき はやみず と あ
本事業サービスに関する相談は、湯浅町社会福祉協議会(担当:玉置・速水)までお問い合わせください。



グラウンドゴルフを体験しました!!

6月2日(日)「ふれあい交流事業」を方津戸コミュニティ広場で実施しました。
当日はお天気にも恵まれ、参加者のみなさんはグラウンドゴルフを存分に楽しみながら、
親睦を深められていました。



体験後は、役員さんの手作りカレーをいただき
笑顔で過ごせた一日でした。

※「ふれあい交流事業」には、社協会費の一部を
使用させていただき開催しました。



活動紹介

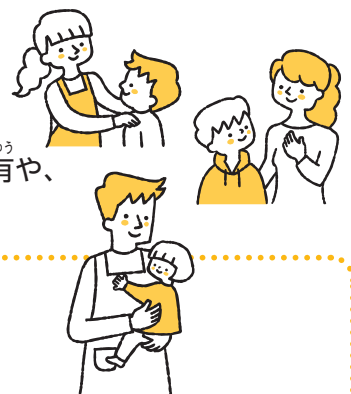
湯浅町母子福祉連合会では、日頃からご協力いただいている地域
のみなさまに還元できる活動として、こども食堂「しらゆりキッチン」の
運営や、デイサービスやすらぎを利用している方々に誕生日プレゼント
を作成しています。



会活動に参加しませんか?

母子福祉連合会とは…

ひとり親家庭・寡婦の方で集い、子育てなど悩みごとについて情報共有や、
行事などを通じて親睦を図っています。



加入対象となる方… 町内在住の母子・父子・寡婦世帯の方々
本会活動主旨に賛同するの方々 (賛助会員)

年会費…………… 500円

主な事業…………… 入学を祝う会・一日遠足・ふれあい交流事業・やすらぎ年末の集い・寡婦遠足
こども食堂「しらゆりキッチン」の運営

※その他にも様々な活動や制度のご案内等も行っています。

湯浅町老人大学 50年の歩み

らいねん ど かいせつ しゅうねん むか ろうじんだいがく れきし
 来年度開設50周年を迎える老人大学の歴史をシ
 リーズでしょうかいご紹介していきます。
 しょかい どうじ きょうしつ えんそく ふ かえ
 初回は当時の教室と遠足について振り返ります。
 ろうじんだいがく しょうわ 51ねん 「けんこうほじ きょうよう こうじょう」
 老人大学は昭和51年に「健康保持・教養の向上・
 い 生きがいと親睦」を目的に設立され、開校当時は3学
 か えんげい か げいのう か ほけんたいいく か ぼ
 科（園芸科、芸能科、保健体育科）でスタートし、募
 集を大幅に超える520名という多くの生徒で総合セ
 ンターの大ホールはあふれんばかりの賑わいでした。



とうじ じゅぎょうふうけい
当時の授業風景



とうじ えんそくふうけい
当時の遠足風景

湯浅町老人大学各科ご紹介 Part 1

げいのうか 芸能科 : こうし せんふくひろし せんせい せいと めい
 講師：千福啓資先生(生徒:38名)

かくち でんしょう 各地で伝承されてきた歴史ある民踊をはじめ、最近
 りゆうこうきょく あ おど かようきょく がつしょう
 の流行曲に合わせた踊りやみんなで歌謡曲を合唱したり
 たの かつどう ろうじんだいがく はびょうかい ろうじんたいいく
 と楽しく活動しています。老人大学発表会や老人体育
 さい ひごろ れんしゅう い おお
 祭、YYまつりでは日頃の練習を活かし多くのみなさんの
 まえ みんよう ひろう
 前で民踊を披露しています。



いけばなぎょうしつ 生花教室 : こうし なかむら こせんせい せいと めい
 講師：中村アヤ子先生(生徒:14名)

なかむら こせんせいしどう せいと わ
 中村アヤ子先生指導のもと、生徒のみなさんは、和
 き あいあいと 楽しむながら 季節に応じたお花を生けてい
 ます。
 また、ひごろ きょうしつ せい か い ゆあさちょう かいさい
 また、日頃の教室での成果を活かし、湯浅町が開催
 している文化祭やYYまつりへの出展も行っています。



ろうじんだいがく さいいじょう かた さんか きょうみ かた しゃかいふくしきょうぎかい れんらく ま
 老人大学は、60歳以上の方ならどなたでも参加できますので、興味がある方は社会福祉協議会までご連絡お待ちして
 ます。

「誰もが安全で安心して暮らせる 福祉と人権の守られた町づくり」のために

令和5年度は当会の基本理念達成に向け、各部署・各事業の相互の連携を図り、協議を重ねながら円滑に事業を実施できる組織づくりに努めてきました。

相談事業では心配ごと相談所を核として、弁護士・公証人・介護相談等の相談支援の充実・啓発強化に努め、福祉サービス利用援助事業や生活福祉資金コロナ特例貸付事業を通じ、相談者の生活課題の解決や生活支援を図るとともに、民生委員さんや行政、各関係機関と連携することで、相談者が抱えている悩みや課題に寄り添い、社協の役割を意識した相談業務に取り組みました。

「地域共生社会」の構築に向けては、包括支援センターや関係機関と連携しながら、当会の公益事業として支援する地域ふれあいサロン活動への継続的な支援、サロン運営者による座談会の開催、ボランティア活動や生きがい対策事業の推進など、住民同士のつながりや世代間交流の輪を広げる活動にも取り組んできました。

福祉教育活動では、小・中学生を対象とした夏のボランティア体験学習の開催や認知症サポーター養成講座への参加、各小学校への出張福祉講座をはじめ、各団体等に対し幅広い啓発に努め、地域福祉についての理解を深めました。

また、本年、元旦に発生した能登半島地震で被災された地域への支援活動を通じて、自然災害の猛威を痛感するとともに緊急時に対する備えとして、平時から地域でのつながりや減災に向けた活動の重要性を再認識させられました。

そのようななか、年度末には地元の学生や地域おこし協力隊など様々な関係機関と連携し、被災地に想いを馳せる「能登半島地震復興イベント」を開催しました。このイベントでは今まで社協との関わりがなかった地域住民の方々がたくさん来場され、復興支援にご協力頂くとともに、防災への学びを深めて頂ける機会となりました。

介護事業では、利用者本位の視点を意識した業務に努めることをはじめ、介護事故防止や虐待予防・感染症対策に対する取り組みの強化、職員間の連携強化を図りながら介護三事業を合わせて、より信頼される事業所作りを目指し邁進してきました。しかし、近年の物価高騰の影響や介護サービス利用者数の伸び悩みや介護職員の人材確保も難航し、介護事業の経営状況が大変厳しい状況となっており、職員ひとり一人が経営観念をもち働きやすい職場環境作り

に努めていかなければなりません。以上のように、福祉に対するニーズが多岐にわたるとともに、社会情勢の変化により大変厳しい局面ではありますが、社協の基本理念達成に向けた事業を実施できたと考えます。

令和5年度 一般会計決算報告

【収入】 (単位：円)

区分	科目	令和5年度	令和4年度
事業活動	会費収入	1,620,950	1,629,140
	寄付金収入	1,295,000	1,799,300
	経常経費補助金収入	35,582,000	34,410,000
	県社協助成金収入	101,200	109,800
	受託金収入	24,608,028	21,369,718
	貸付事業収入	276,000	500,000
	事業収入	549,385	440,462
	介護保険収入	97,406,117	99,059,966
	障がい福祉事業収入	7,136,660	7,815,552
	受取利息配分金収入	8,709	9,782
その他の収入	497,474	319,612	
その他の活動	積立資産取崩・サービス区分間繰入収入	8,291,569	28,000,000
	退職預け金取崩差益	244,200	411,760
	収入合計	177,617,292	195,875,092

【支出】 (単位：円)

区分	科目	令和5年度	令和4年度
事業活動	人件費	136,490,819	136,998,380
	事業費	24,883,895	31,666,898
	事務費	6,586,631	15,504,795
	貸付事業	105,000	524,000
	分担金	201,300	192,200
	助成金	230,000	306,000
	退職金差損	475,200	350,560
施設整備	固定資産取得支出	188,100	10,052,391
その他の活動	サービス区分間繰入金支出	8,060,569	3,000,000
	積立資産支出	7,667,940	7,904,800
	支出合計	184,889,454	206,500,024

老人福祉作文大募集

湯浅町社会福祉協議会では、次代を担う子どもたちが、高齢者とのふれあいや出会いを通じて、福祉について理解と関心を深めるとともに、多年に亘り社会に寄与されてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝されるために「老人福祉作文」を募集致します。

募集内容

自身のおじいさん・おばあさん、近所の高齢者との日常的な交流や出来事を通じて、学んだことや感じたことを素直に表現した心とむエピソードをお書きください。

募集対象

小学1～6年生・中学1～3年生

原稿枚数

当会指定原稿用紙（3枚以内）

締め切

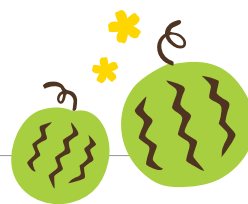
8月28日（水）



※本年度も各学校を通じて、児童のみなさまにご案内させていただきます。作文の提出については、各小・中学校へお願いします。

今後の予定

7月10日（水）	あいうえおサロン（地域福祉センター）
21日（日）	ゆあさおもちゃ病院（地域福祉センター）
26日（金）	老人大学（総合センター）
28日（日）	しらゆりキッチン（地域福祉センター）
8月4日（日）	心配ごと（弁護士）相談（地域福祉センター）
7日（水）	あいうえおサロン（地域福祉センター）



各種お問合せ先…湯浅町社会福祉協議会までお願いします！

電話：63-5175 FAX：63-3304 メール：yuasashakyo-361@violin.ocn.ne.jp